

# 離婚協議書

住所 〇〇県〇〇市〇〇

氏名 〇〇〇〇 (甲)

住所 〇〇県〇〇市〇〇

氏名 〇〇〇〇 (乙)

夫である〇〇〇〇 (甲)と妻である〇〇〇〇 (乙)は、協議離婚をすることとし離婚届に各自署名押印した。協議内容については、次のとおり合意する。

## 記

- 第一条 甲乙間の未成年の子〇〇 (〇年〇月日生、以下丙という)の親権者を乙と定める。
- 第二条 甲は乙に対し、丙の養育費として〇年〇月から丙が成年に達する日の属する月まで、毎月〇万円ずつ、毎月末日に限り乙の指定する金融機関の丙名義の口座に振り込み送金して支払う。振込先は、〇〇銀行 〇〇支店 店番 〇〇 普通 口座番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 名義人 〇〇〇〇 とする。
- 第三条 甲は乙に対し、財産分与として、甲所有名義の不動産(住所 〇〇県〇〇市〇〇 建物名 〇〇〇〇)を乙に譲渡し、〇年〇月までに所有権移転登記手続をする。また、甲の銀行口座の貯金の半分の〇〇万円を乙に支払うものとする。
- 第四条 慰謝料として、金〇〇万円を支払う。支払期限は〇年〇月〇日とする。
- 第五条 本示談書に記載された事項以外は、甲乙丙間について本件における債権債務は存在しない事を確認する。
- 第六条 今後、互いに一切の金銭等の要求はしないものとする。
- 第七条 今後、本件について裁判などに告訴しないものとする。
- 第八条 本離婚協議書は、行政書士の〇〇〇〇を証人として、公正証書として保存することとする。
- 第九条 甲は乙に対し、甲が毎月1回丙と面接交渉をすることを認める。面接交渉の日時、場所、方法は、甲乙互いに協議して決定する。

上記の通り示談が成立したので本書面2通を作成し割り印を押し、甲乙それぞれ1通ずつ所持するものとする。

平成〇年〇月〇日

(甲)

印

(乙)

印